

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 30 年度 第 5 回理事会 議事録

開催日時：平成 30 年 12 月 14 日（金）午後 6：30 から

開催場所：技師会事務所

出席者：浅野、長谷部、森（さ）、川合、渡邊、佐藤、澤野、高崎、藤本、斎藤、松原、外川、  
松浦、松本、乙訓（代理）、中村、兼平、羽柴、糸山、後藤、

欠席者：熊崎、土屋、柴、森（晴）

議長：浅野敦会長

議事録：後藤庶務部長

※健康福祉部医療福祉連携推進課 医療勤務環境改善支援センター 推進委員（時吉鈴美さん）医療労務管理アドバイザー（森千晴さん）より「岐阜県医療勤務環境改善支援センター事業について」の話があった。

#### 【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

#### 【浅野会長より】

1. 飛騨地区の熊崎さんが理事会に来ることがなかなか難しいため今後欠席する。同じ施設（下呂温泉病院）の藤木さんから、可能な範囲で代理出席をさせていただきたいと申し出があった。規定には抵触しない。

#### 【庶務部長より】

1. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

##### ① 会費の送金について

・平成 30 年 9 月締め分、会費集金処理ができ 10 月 31 日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

平成 30 年度会費 10,000 円×1 名=10,000 円

平成 30 年度入会金 500 円×1 名=500 円

平成 30 年度再入会金 なし

送金合計額 10,500 円 以上の会費送金があった。

・平成 30 年 10 月締め分、会費集金処理ができ 11 月 30 日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

平成 30 年度会費 10,000 円×1 名=10,000 円

平成 30 年度入会金 500 円×1 名=500 円

平成 30 年度再入会金 なし

送金合計額 10,500円 以上の会費送金があった。(後藤庶務部長)

② 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い

・岐阜県の検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の現状(H30.11.28時点)として、平成30年10月0人、11月0人。平成30年度の修了者65人。平成29年度までの修了者639人。修了者合計704人。会員数859人。修了率82.0%。未修了者155人であった。(後藤庶務部長)

・毎月届く資料であまり内容に変化はない。来年度新卒の方には是非受講するように案内をお願いします。来年度卒でも3年生卒の学校は対象外になる。(平成28年度からは新しいカリキュラム)(浅野会長)

③ 各賞受賞候補者の推薦と永年職務精励者表彰 該当候補者について

・永年職務精励賞、日臨技有功賞(会長賞、功労賞、特別賞)、日臨技学術奨励賞(優秀論文賞、優秀演題賞、特別奨励賞)日韓交流功労賞、その他の表彰の推薦依頼があった。(後藤庶務部長)

・日臨技の表彰規定で永年職務精励者候補者(今年度は14人)には賞状と記念品が届く。岐臨技からの推薦対象は優秀論文賞、優秀演題賞ですが日臨技の発表や論文投稿が対象となる。該当者がある場合には推薦状を書くので連絡をお願いします。また、学術部でも対象者の有無の調査をお願いします。岐臨技でも永年職務精励賞や功労者は毎年の総会の時期に行っている。組織調査部で対象者のリストアップを依頼中。(浅野会長)

④ 精度管理責任者育成講習会(eラーニング)開講、および標準作業書、作業日誌又は台帳関係「雛形」の開示について

・各施設で対応されていると思うが、明日(12/15)行政から説明会(岐阜医療科学大学)を行っていただくので参加をお願いします。精度管理責任者は医師が多いかもしれないが、技師が精度管理責任者になることによって病院(施設)での立場も良くなると思う。精度管理責任者育成に関しては、法律で定められている訳でもなくあくまでも日臨技の当面の方針として講習会が開講される。(浅野会長)

⑤ 日臨技災害時支援対策マニュアルに基づく災害連絡責任者の確認について

・前任者は兼子前会長。会長が兼任する規定はないが浅野会長に変更する。岐臨技の災害時支援対策マニュアルが必要と思い災害時対策マニュアル(案)を作成し、前回常務理事会で提示をした。今回の理事会で承認を取る予定であったが、資料がないため後日メールで配信し承認(電子的)が取れば採用とする。(浅野会長)

⑥ 日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて

・理事構成の変更:例えば、中部地区をみても各県に1人の理事がいるわけではないため、

日臨技で諮られたものを各県に速やかに落とし込むにあたっては難しい状況。そのための改善策として、各県 1 人の理事を置く（現在各県の会長が各県の幹事を行っているので、幹事が理事となる）という案。日臨技入会のみで会員（都道府県技師会には入会していません、日臨技のみに入会している会員）の見直し：日臨技に加入する条件として、都道府県技師会に所属することの案がある。その他の案を含め来年度の日臨技の総会で諮られて承認されれば決定となる。（浅野会長）

⑦ 「日臨技臨床検査データ標準化事業」体制の見直しについて

・基幹病院（施設）を基にして標準化を合わせていくことは実質できていない状態。（以前行ったのでできたことになっている）（佐藤精度管理部長）

・今回の医療法の改正に伴っての「日臨技臨床検査データ標準化事業」体制の見直しのようです。しかし、まだ内容は見えていないのでその際は協力をお願いします。（浅野会長）

・基幹施設に PC など供与されていると思う。それをどうするのかも問題。（佐藤精度管理部長）

・岐臨技事務所に、その PC が放置されている。廃棄か返却か日臨技に問い合わせる。（浅野会長）

⑧ 講師派遣について

「精度管理報告会」における特別講演講師派遣について了承の回答が届いた。講師は専務理事 滝野寿氏（後藤庶務部長）

・医療法の改正に伴う日臨技の考え方の話をしてもらおう。交通費は岐臨技で支払う。（浅野会長）

・交通費については今年の宮島会長の場合と同様会計処理を行う。（佐藤精度管理部長）

⑨ 小川しんじ君のご挨拶の機会の確保について

・小川しんじさんの挨拶の機会の確保についての依頼とパンフレット、入会申込書が届いている。（後藤庶務部長）

・来年度の参議院選挙に日衛協から出馬される。技師会としても、前回の宮島会長が参議院議員に出馬した際に日衛協から非常に協力を得たため、日臨技としては全面的にバックアップしていく方針。挨拶は、精度管理報告会終了後に了承も得たため予定している。精度管理報告会のスケジュール（16：15～）も決まったため案内も送った。（浅野会長）

2. 日本臨床検査技師連盟より

① この後、森副会長より報告もあるが、加入率が少ないため加入率を上げていかないといけない。（浅野会長）

3. 日臨技中部圏支部幹事会より

- ① 中部学会の前日に幹事会が行われた。JCCLS 共用基準範囲採用状況：全国での採用は26%程度（岐阜県は5~6%ほど）のため採用を勧めていきたい。また、臨床化学会からALP、LDの処方を変える話も出ている。JCCLS 共用基準範囲採用の問題点としては、各施設で使用している基準値と変わってしまう事。病態識別値と基準値を分けて考え、その事を医師に認識（理解）してもらうことが大切で技師会としても協力していきたい。日本医学検査学会（第68回・山口県開催）：演題数が非常に少ないため演題締切が12/25まで延期になった。例年は560演題ほど登録されるが昨日現在で356演題。ぜひ協力をお願いします。技師連盟について：「宮島喜文と語る会」が中部圏支部学会で開催されるが今後も続く予定。都道府県技師会ニューリーダー育成研修会開催について：2019年度は柴さんが参加。来年度以降も開催予定のため、関さん、鈴木さん、市川さんの中から参加してもらう予定。初級・職能開発講習会について：3年間で6県（2県/1年）持ち回りで開催した。来年度（静岡、三重）で終了予定ですが、今後は新たな企画（人材育成に関しては継続的な事業が行われる）が開催される。eラーニング：個人契約だけでは契約率が伸びない。施設契約をお願いした。問題は値段。月単位での希望だったが、施設契約では予算取りもあるため年単位での契約の要望をした。（浅野会長）

4. 2020年度診療報酬改定に対する臨床検査のコスト調査について

- ① 次回の診療報酬改定に向けての技師会から要望したためのアンケート。その1つとして外来採血の実態のアンケートの依頼がきた。各都道府県で100床以下の施設2施設、100~400床を2施設、400床以上を2施設、計6施設を対象に依頼があったため、（締切が近い）事前に選びお願いした。協力をお願いします。内容は、コスト人件費など。（浅野会長）

5. 2018年度プロモーションコード地区会（東海・北陸地区）の開催案内について

- ① 毎年行われている。昨年は浅野会長、森副会長、兼子前会長が参加した。（今年度は1/28開催）理事の方で参加希望の方は12/20までに連絡（メール）をお願いします。浅野会長は参加予定。プログラムの中で「学会等会合の采井に関するお願い（寄付・広告等）」は我々に関係してくる。（浅野会長）

6. 県・医療整備課より

- ① 衛生検査所指導要領、衛生検査所指導監督基準、衛生検査所立入検査結果表、衛生検査所立入検査結果表（RIを備える検査所）、衛生検査所組織運営規定準則、衛生検査所指導要領の正誤表の送付、医療機関、衛生検査所等における検体検査に関する疑義解釈資料（Q&A）の送付、病院又は診療所間において検体検査業務を委託及び受諾する場合の留意点について

・これらの資料はすでに内容に合わせ、施設連絡責任者や全会員に送っている。確認をお願いします。明日の説明会（12/15 行政から説明会（岐阜医療科学大学））でも配布資料として入っている。（浅野会長）

#### 【岐阜地区より】

##### ① 第 39 回ぎふ市民健康まつり 報告書

- ・ 11 月 4 日（日）岐阜市文化センター1 階催し広場で開催された。事前準備として運営会議（2 回）、ワーキング会議（2 回）、打ち合わせ会議（2 回）行った。前日会場準備については実務委員（新旧阜地区役員）が、前年度実務委員の指導にて、レイアウトを検討し、使用する机や椅子のセッティング、案内用紙の貼り付け等を行なった。当日について、駐車場は井上精機（株）の駐車場を使用した。スタッフは午前 9 時に、実務委員は午前 8 時に集合し使用機器（尿自動分析装置 US-2200 2 台、加速度脈波計 SPD-100 3 台、超音波診断装置 XarioTM200 2 台）の設置を行った。機器は当日搬入した。午前 10 時に「健康まつり」式典が開催され、式典終了の 10 時 30 分より各コーナーにて検査を開始し午後 3 時 30 分の時点でイベントを終了とした。事後会議は平成 30 年 12 月 20 日予定。各検査コーナーの市民の参加人数（ ）は前年の参加人数

尿検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・212 名（250 名）

血管年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・760 名（769 名）

頸動脈超音波・・・・・・・・・・・・・・・・176 名（183 名）

検査コーナー延べ参加人数・・・・・・1,148 名（1,202 名）

「市民健康まつり」市民延べ参加人数・・・・・・14,805 名（15,562 名）

当日は小雨でしたが昨年同様の人数の参加があった。尿検査・血管年齢測定・頸動脈超音波、共に昨年とほぼ同数でした。頸動脈超音波は、予約整理券 200 名を準備しましたが、整理券配布開始前から長い行列ができ、予定数を超えお断りするほど好評でした。当日は 30 名（内 10 名は実務委員）と昨年と比べ少なかったが、チームワークがよく特に問題もなく無事終了することができた。反省点として、今年度は前年度に比較して、ボランティアスタッフの減少もあり、臨床検査コーナーの検査に追われ、他団体のブースの様子を見るような休憩時間が取れなかった。また、市民の方より、待ち時間が他のブースより長いことを指摘された。これらは次年度の検討課題とする。

決算書：日当：¥61,000、交通費：¥25,600、食卓費：¥41,490、機器リース料（フクダ電子）：¥32,400、消耗品費（試薬・試料代）：¥10,368、消耗品費（検尿用カップ、他文具）：¥3,847、支払負担金（振込両替手数料 2 件）：¥648、合計：¥175,353 円と昨年度とほぼ同じ金額となった。（森副会長）

- ・ 決算書も例年通りで問題はない。来年度もよろしくをお願いします。（浅野会長）

#### 【西濃地区より】。

① 「第 23 回市民の健康広場」について

・ 10 月 21 日（日）大垣城ホールにて「第 23 回市民の健康広場」を行った。参加者は全体で 1600 名。岐阜県臨床検査技師会のブースでは午前 227 名、午後 130 名、合計 357 名の方が訪れた。催事内容別として骨密度 141 名、血管年齢 231 名、認知症検査 58 名で各催事とも盛況だった。午後に骨密度の機器が故障した。認知症の検査（日臨技からレンタル）も好評だったため、今年度は 1 台だったが次回は 2 台での運用も検討したい。スタッフは 14 名で行った。来場者数は 357 人（前年度比 141%）と好評だった。決算としては、収入：大垣市健康広場助成金 ¥30,000。支出：旅費交通費（大垣市健康広場当日・準備会議など 3 回）として日当 ¥29,000、旅費交通費 ¥12,300、食卓費 ¥28,370。物忘れ相談プログラム精密器機（運送費往復）¥3,017、機器リース料（フクダ電子）¥32,400、消耗品費（配布資料購入分）¥7,272、振込手数料（3 回分）¥864、合計 ¥113,223。今年度は配布資料がメーカーなどから必要部数入手できなかったため、300 部購入（¥7,272）となった。あとは昨年同等の支出だった。（外川理事）

・多くの方に来場していただき盛況だった。（浅野会長）

② 西濃地区総会について

・ 1/30 に予定している。毎年各施設の会議室等を利用しているが、今回は各施設の都合がつかず大垣市情報個工房（18：00～21：00、¥3500）で予定しているので承認をお願いします。（外川理事）

異議なし。承認された。

【飛騨地区より】

① 高山健康祭りについて

・ 9/23 に実施された。経費として、日当（当日・その他）¥14,000、旅費交通費 ¥2,800、食卓費 ¥14,424、器機リース代 ¥22,550、振込手数料 ¥324、合計 ¥54,098 となった。承認をお願いします。

異議なし。承認された。

② 第 3 回岐阜県検査学会について

・平成 30 年 12 月 4 日（火）に実行委員会を行った。一般演題申し込み状況として 12 月 3 日現在 9 演題、本日（14 日）現在 10 題、2 演題の見込みがある。目標は 14 演題。2 演題ほどエントリーの協力をお願いします。演題締切は 1/10 まで。（長谷部副部長）

・エントリーの少ない部門をお願いします。（血液 1 題、生理 3 題、チーム医療 1 題、微生物 2 題、病理 1 題、一般 1 題）（1 演題→2 演題）（浅野会長）

・協力要請（メール）します。（渡邊学術部長）

・協賛：ランチョンセミナーは 2 社：富士レビオ株式会社、ベックマンコールター株式会社 広告は富士フィルム和光純薬株式会社、極東製薬工業株式会社、井上精機株式会社、シスメックス株式会社、ロッシュ・ダイアグノスティックス、その他（アボット、BML、シノテスト、積水）で 9 社決定して、もう 1 社 HITACHI が候補にあがっている。市民公開講座のポス

ターも原案ができた。ポスターは下呂市内を中心に医療機関、公共機関に掲示する予定。(長谷部副会長)

#### 【中濃地区より】

##### ① 平成 30 年度秋季拡大研修会について

・平成 30 年 11 月 18 日 (日) 岐阜医療科学大学 早緑ホールにおいて秋季拡大研修会が開催され 80 名の参加があった。今回は病理細胞部門および染色体・遺伝子部門が担当。『今後のがん医療』をテーマに、緩和医療とゲノム医療の視点から、現状報告から今後のがん医療の展望について研修会を行った。病理細胞部門では、東海中央病院 緩和ケアセンター長 川端 邦裕先生にて『今後のがん医療 ～がんと共に生きる緩和医療～』と題し、ご講演いただきました。染色体・遺伝子部門では、東京大学医学部附属病院 認定遺伝カウンセラー 大瀬戸 久美子先生にて『ゲノム医療と遺伝カウンセラーの日常診療での関わり』と題し、ご講演いただきました。ランチョンセミナー①では、アークレイマーケティング株式会社 学術推進チーム 中村 勇先生にて『遺伝子検査院内化の現状と遺伝子解析装置 i-densy による運用例の紹介』、ランチョンセミナー②では、アボットジャパン株式会社 モレキュラー事業部 奥平 真美先生にて『悪性腫瘍の治療・診断における FISH 検査の役割』をご講演いただきました。市民公開講座では、牛田電気設備設計事務所 代表 牛田 尊様にて『今、あなたにできること～AED で助けられたからこそ伝えたい～』と題し、ご講演いただきました。今回の市民公開講座での一般市民の参加者は 0 人でした。高崎広報宣伝部長に協力を得て近隣の自治体に声掛けをしてもらったが、場所柄(岐阜医療科学大学)集まりにくいという事で、岐阜医療科学大学で行う場合、市民公開講座は技師に係る内容でも良いかもしれない。今後の課題として資料集に関して、事前配布として計 228 冊(施設 92、自宅会員 71、賛助会員 39、広告協賛 10、ランチョン協賛 2、講師 5、司会 3、岐臨技会長 1、事務所保管分 5) 当日参加者配布数 100 冊(100 名参加予定)で合計 330 冊準備した。会員数多い施設(例えば大垣市民 60 名)でも 1 冊のみ、自宅会員は 1 人 1 冊と格差があるため自宅会員への事前配布必要なのかと思った。自宅会員への配布がなくなればコスト削減にもなるため、今後の課題にしていきたい。また、渡辺学術部長にもお願いして、研修会資料集ダウンロードの活用をして誰でも閲覧できるようにした。ダウンロードの活用をおこなえば、資料集フルカラーでなくても良く作成費用も抑えられると思われる。平成 30 年度秋季拡大研修会収支報告書として、収入としては ¥330,000 (研修会など参加費用 秋季拡大研修会参加費 80 名 ¥80,000、広告料 資料集広告料 10 社 ¥100,000、ランチョンセミナー 2 社 ¥100,000、日臨技助成金 ¥50,000)、支出として(印刷製本費 製本費(コームラ) 秋季拡大研修会資料集 330 冊 ¥132,000、諸謝金 講師等謝礼 外部講師謝礼 3 名 ¥77,959、講師等旅費交通費 外部講師交通費 3 名 ¥30,068、日当 ¥14,000、旅費交通費 ¥19,620、食卓費 ¥100,000、講師控室お茶菓子代 ¥866、会場警備費 ¥25,650、振込手数料 ¥540) 収支合計 ¥-70,703 であった。春季研修会も同様の場所で行っ

ていて、18万円ほど

の赤字だった。(今回は7万円ほど) 差が出る理由としては製本費。今回岐阜医療科学大学の協力を得てコスト削減ができた。中部学会も中濃地区開催のため、その会議を利用して(秋季拡大研修会の会議をし) 秋季拡大研修会の会議の費用も抑えることができた。研修会の資料もカラーで考えていたが、HPに掲載されるという事でモノクロに変更したら、1冊500円ほどの費用(カラー)が400円ほど(モノクロ)に抑えられ330冊と多かったが13万2千円と少ない予算で作成できた。工夫すれば赤字も抑えられると思う。収支の承認をお願いします。(川合会計部長)

・製本に関しては以前から意見が出ていたが、今後検討をしていきたいと思う。自宅会員に配布する件や大きい施設でも1冊しか配布しないという件に関しては、HPに資料集を掲載することを活用していけば解決するかもしれない。HPに資料集を掲載することを会員に案内し周知してもらい、自宅会員の配布をなくすなど徐々に行っていきたいと思う。今後の検討課題とする。(浅野会長)

異議なし。承認された。

## ② 第58回中部圏支部医学検査学会について

- ・第3回実行委員会を10/23 実行委員16名が参加し岐阜医療科学大学で行った。
- ・学会長(浅野会長)より:今年度の役員改正により、会長・副会長が決定し、本番に向けた実行委員のメンバーも決定した。これから本格的な企画運営の会議となる。本番までは一年を切っている状況である。あせらず取り組んでいくように話があった。
- ・現状報告(高崎委員長)より:資料確認、ポスター「日本臨床検査技師会」→「日本臨床衛生検査技師会」へ修正する。進捗状況報告や日程について、学会・文化講演・特別講演の発案:今年中に組み込むかどうか、講演者をどなたに依頼するかは今年度中には決定したい。講演者のスケジュールもあるので早めがよい。企画やイベント内容をしっかり決まってから選定をしていく。日臨技企画の学生フォーラムは来年度も行われる可能性がある。三重の特別企画のような、オリジナルの企画を岐阜でも知恵を絞り提案していく事になった。
- ・渡邊先生より:学術部門では、中部6県の部門長の中には講師選定を進めている部門もある。(メインテーマ、サブテーマをお知らせする)
- ・高崎先生より:毎月の理事会で進捗状況を報告する。
- ・三重大会の視察については、視察の人員配置など話し合った。
- ・その他:視察後に学会の運営マニュアルを作成して共有する。(高崎先生)日臨技のホームページにも学会の運営マニュアルが掲載されているので参考にする。岐阜会場(長良川国際会議場)の下見は今後必要時に実施する。交通費、宿泊費、懇親会費を技師会で支給する。いつ参加するか、宿泊場所、宿泊日時、領収書は後日確認が必要になる場合もあるので残しておく。学会後に事務局より必要事項を記入してもらうための連絡をする。(事務局)今後の予定として、日程内容確認(第57回学会(三重)次回学会予告済)、講演等に



岐阜市市長の柴橋氏、関市の福田刃物工業、浅野撚糸はどうでしょうかの提案が森先生よりあった。実行委員で検討し、岐阜市長に関しては早めに依頼し予定の確保が必要なため、講演者の一人として岐阜市の柴橋市長に何う事が実行委員で決まった。それ以外の講演者については次回以降の実行委員会で検討する事となった。また講演者の案があれば各自で持ち寄る事となった。ブルズンは20着作成し、三重県の中部学会や検査と健康展で使用した。次回実行委員会予定日は12/19に開催予定である。内容は後日報告します。(乙訓理事代行)

・中部圏支部医学検査学会のHPについて：HPの(レイアウト)原案が届いた。来年は元号が変わる(まだ決まらないため)ので、今回は2019年度で作成する。実行委員にはメールで配信したが異議は特になかった。(高崎広報宣伝部長)

理事：異議なし。

・今後はアドレスを取得し、企業向けの趣意書を作成する。(高崎広報宣伝部長)

・趣意書のリストの作成をお願いします。(会長からも)趣意書を送るリストを(高崎広報宣伝部長に)連絡します。中部学会参加人数は収支の面から考えると1,000人が目安となっている。(1,000人を切ると赤字)三重県の学会は1,000人を切っていた。(1日目で700人ほど)一般演題も最低130題を目指しているので各部門で何演題を割り振りして活動してください。開催県でもあるので1題でも多くエントリーをお願いします。(浅野会長)

#### 【東濃地区より】

議題なし。

※地区総会について：各地区総会を開くことになると思うが、予定を立て報告をお願いします。(浅野会長)

#### 【学術部より】

1. 第57回中部圏支部医学検査学会中部学会(三重県)報告

・第57回中部圏支部医学検査学会中部学会(三重県)に関して、岐阜県より座長が6名、発表が12演題であった。来年度は岐阜県開催のため今回(三重県)の倍を目標にしている。(渡邊学術部長)

2. 臨床血液部門研修会について

・2/16(土)開催の臨床血液部門研修会の外部講師の依頼についての審議をお願いします。助成対象。参加者は20名ほどを見込んでいる。(渡邊学術部長)

・外部講師として、土岐市民総合病院の放射線技師の方(役職なし)は講師料1万円と岐阜市民病院の血液内科部長笠原先生は講師料3万円。予算書の収入に日臨技の助成金の記入をお願いします。収入として約3万円、支出として¥48,889円、約2万円弱の赤字となる。この予算に対して意義のある方は？(浅野会長)

異議なし。承認された。

### 3. 岐阜県臨床検査技師会会誌について

・会誌 152 号の見積もりが届いた。お値打ちな業者（編集作業も込み）で例年通り提示（見積もり）された。論文掲載数は昨年同様の 6 論文を予定している。現在演題は 2 演題（病理、微生物）（渡邊学術部長）

#### 【精度管理事業部より】

##### ① 平成 30 年度精度管理事業部総括集校正作業記録について

・今年度も精度管理事業部総括集を発行する。その校正作業を 30 年 12 月 6 日（木）18：30～20：30、平成 30 年 12 月 13 日（木）18：30～20：30 と 2 回に分けて行った。（場所：岐阜県臨床検査技師会事務所）12/6：生理検査の写真が 1 ページに 2 枚となっているものもあり、1 ページ 6 枚が基本であるのでできるだけ縮小し納めてもらうよう責任者に依頼した。⇒フォトサーベイの形式を統一していなかったため、次年度は作成に先立って統一したテンプレートを示すようにする。また、臨床化学のグラフで（印刷時に）一部見にくい部分があり、再作成を依頼した。12/13：最終校正を行った。12 月 21 日納品予定。精度管理調査の参加証、最終評価、報告会スケジュール、総括集配布と報告会の案内文を同封して 12 月 25 日に発送予定。

##### ② 精度管理事業部報告会について

・平成 31 年 1 月 27 日（日）東海中央病院 3 階大会議室で行う。12：30 受付開始→開会のあいさつ（岐臨技浅野会長）→各部門の報告となる。特別企画として、日臨技専務理事滝野さんに「医療法改正に伴う標準作業書、日誌等の作成について」をお願いする予定。閉会の挨拶は長谷部副会長お願いします。閉会后、残っていただき日本衛生検査所協会理事小川 真史氏に挨拶をお願いします。また、挨拶前後に連盟の話を森副会長がされる。事前参加は取らない。（佐藤精度管理部長）

#### 【組織調査部】

##### ① 平成 30 年度 全国「検査と健康展」について

・平成 30 年 12 月 2 日（日）にて実施した。今回も岐阜医療科学大学と共同開催した。前日の設営から大学の協力を得た。当日の実務委員は 41 名でパネル展示、尿分析機や顕微鏡を用いて体験、医師による健康相談、健康チェックなど行った。来場者数概数は 400 名（昨年 230 名）と昨年よりかなり多かった。今年度は体育館を会場として使用し、広いスペースとなったので昨年より多くの市民の方が来場された。実施項目として、肺機能検査（1 秒量のみ）（198 名）、体内臓器を細胞まで見てみよう（臓器病理標本観察）（50 名）、疑似尿による尿検査（模擬尿を用いての尿試験紙検査）（70 名）、輸血の血液のゆくえ、貧血の検査、血球の説明（160 名）、手洗いチェック（ブラックライトを用いて洗い残しチェック）（50 名）、ストレスチェック（唾液中のアマラーゼを測定したストレスチェック）（100 名）、認知症チ

ェック（物忘れプログラムを用いた認知症チェック）（100名）、検査医による健康相談（33名）だった。今回は大学の学生も多かったため、各部門に入ってもらい一緒に活動ができたことが良かった。しかし、検査技師の仕事紹介で映像を流したが、立ち止まって見ていただいている様子がなかったため来年度は工夫が必要と感じた。収支報告として、収入の部：日臨技助成金¥500,000 円、支出の部：旅費交通費（前日設営（2名）・当日運営（41名））：日当¥43,000、旅費交通費¥59,120、食卓費¥44,000、機器リース料（顕微鏡デジカメセット機器リース）¥17,280、試薬・試料代/アミラーゼ測定用チップ¥17,820、肺機能検査物品、その他文具など¥58,220、配送料（物忘れプログラムレンタル器機発着送料）¥6,108、諸謝金（立ち会い医師お礼菓子）¥10,564、備品費（技師会ブルゾン）¥40,000、振込両替手数料（振込3件）¥972、合計¥297,084、その他会場費、当日机使用料を含め日臨技には50万円以上で報告をする。（澤野組織部長）

・いきいきフェスタ（わかくさぷらざ）で行って会場費が掛かっていないことが大きい。普通に場所を借りて行くとそこそこの費用がかかる。学生やリハビリと一緒にイベントを行う事など「いきいきフェスタ」で行うことについては意義が大きいですが、ほかの会場を借りて行うこともできる（予算的にも）ので今後検討し行っていきたい。若干日臨技の報告とは異なるが、岐臨技の収支報告について異議は？（浅野会長）

異議なし。承認された。

#### 【広報宣伝部】

- ① 11月発行予定だった会報を1か月ずらし、イベント盛りだくさんの10月・11月分を入れ12月20日に58号、1月2日に59号を予定している。今まではイベントが多かったが、それに加え今回はニューリーダー研修会や12/15の（医療法改正）行政から説明会も加えたい。また、会長からの一言も今回から加え盛りだくさんの内容にしていきたい。新人からの投稿（Rookie Clinical technologist）も引き続き掲載している。（高崎広報宣伝部）

#### 【渉外部】

- ① 1/29に健康福祉部医療福祉連携推進課（医療勤務環境改善支援センター推進委員 時吉さん）との会議がある。（森副会長）

#### 【人材育成部より】

- ① H30年度都道府県技師会リーダー育成研修会（2/10（日）岐阜清流病院）の準備をしている。当日の講師は横地副会長。現在7名の参加（予定は30名）のため、関さん（人材育成部会）から各理事に推薦を依頼し参加人数を募集している。（森副会長）
  - ・明日の技師長連絡会の時にも推薦をお願いしようと思っている。（浅野会長）
  - ・7名の内訳は大垣市民HP4名、土岐総合2名、岐阜医療科学大学1名。本日、清流病院3名参加となった。（→計10名）各地区の理事や学術の次期リーダーの方など参加をお願い

いします。(森副会長)

・予算書として、収入の部：研修会参加費 60,000 円、日臨技助成金 35,000 円（参加者 30 名 x500 円+定額 2 万円）、合計 95,000 円。支出の部；資料集は富士ゼロックスより提供のため 0 円、食卓費（弁当・お茶代）42,000 円（デイリーヤマザキ：1,000 円 x 42 個（講師、実務委員含む）、講師 200,000 円（横地副会長 0 円（日臨技負担）、浅野会長 0 円、坂本氏 20 万円）、交通費（横地副会長 0 円（日臨技負担）、浅野会長 0 円、坂本氏 22,960 円）、会議費として日当 17,000 円、交通費 25,400 円。準備会議（理事会後）2 回行った。当日は 9 名の実務委員を予定している。講師のお茶代は 1,000 円。合計 308,360 円。収支は-213,360 円となった。承認をお願いします。(森副会長)

・今回は講師（富士ゼロックス）費が 20 万円のため赤字が膨らんでいるが、講師に招く件については以前承認を得ている。(浅野会長)

異議なし。承認された。

#### 【会計部より】

- ① 10 月に上期の会計監査を行った。メンバーは会長、副会長、会計部、会計士。その後、会計部で書類を作成し会計士確認、会計上に問題はなかった。理事会での中間決済の承認のため報告する。平成 30 年度中間決算について：1. 収支計算書について 予算額と中間決算額の比較です。ただし、中間決算額は 4 月 1 日から 9 月 30 日の 6 か月の実績ですが、予算額は 1 年度分です。したがって、中間決算額が予算額の半分程度であれば予算通りともいえますが、一部の科目は収益・費用が上期か下期に集中しています。また、(1) 経常収益の①入会金・会費収入の「正会員会費収入」の中間決算額は、実際に入金のあった額の半分を計上し、残りの半分は前受金として下期の収益としています。予算との差額が大きい科目は特にないと思われます。2. 正味財産増減計算書について 当年度と前年度の中間決算額の比較です。前年度と差額の大きい科目（前年度±100,000 円以上）(1) 経常収益 ②事業収益の「研修会等参加費収入」の増加は主に、新設の「人材育成事業」（認知症対応力向上講習会、多職種連携のための講習会）と、新人サポート研修会分の増加によるものです。②事業収益の「広告収入」の減少は主に、新人サポート研修会のテキスト広告を募集しなかったこととランチョンセミナーを 1 社のみとしたことによるものです。(2) 経常費用 「事務員給与」の増加は、勤務時間の増加と時間給の見直しによるものです。「食卓費」の増加は主に、新設の「人材育成事業」分と、新人サポート研修会で学生分を準備したことによるものです。「製本費」の増加は主に、新設の「人材育成事業」分と、春季拡大研修会が前年度より高額であったことによるものです。「講師等謝礼金」の増加は主に、新設の「人材育成事業」分と、臨床微生物部門研修会に外部講師を招聘したことによるものです。3. 貸借対照表・財産目録について I 資産の部の「未収金」は精度管理参加費のうち、上期中に支払われなかったものです。II 負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分としたものと、下期開催の検査と健康展の助成金と秋季拡大研修会の広告料が上期中に入金があった

ものです。(川合会計部長)

・上半期の経常収益に関しては12,772,406円、経常費用計は7,770,028円、当期経常増減額は5,002,378円。約500万円が下期で使用できる金額となる。上期では、役員改正に関する経費や事務員給与の見直しなどがあったため、上期下期半々とはいかないが残り(下期)500万円というのは妥当な数字で、通常通りの使用であれば赤字にはならない。貸借対照表の負債の部に関して、会費収入の半分を下期分として前受金(負債扱いになる)としている。残高証明(9/30現在)として、19,184,045円(普通預金)残っている。会計部から定期預金の提案もある。管理上の問題もあり、一つの口座だけではなく分けでも(管理も含め)考えている。(浅野会長)

・10月分の会計確認も行った。10月は収入も支出も少なかったため、例年比としても少なかった。会計確認上問題なし。事務員さんも行事が少ないと事務員さんの負担も少なく、給与支出も少なかった。(川合会計部長)

異議なし。承認された。

#### 【その他】

1. コスタ岐阜県庁前管理組合第26期第3回理事会と第26期通常総会について
- ① コスタ岐阜県庁前管理組合第26期第3回理事会が10/24(水)にコスタビル1階で行われた。審議内容は、1)第26期通常総会について、2)玄関扉(501・401室)の修繕について:501号室及び401号室の玄関前の水傾斜が悪く玄関前に雨水がたまることが多く、玄関扉の下部がさびて腐食が見られるため修繕を検討してほしいとの要望があった。対策工事として、玄関扉の下部にステンレスプレートを張り補強、さらに階段下に排水溝を掘り雨水を下に逃がす工事が考えられるが、約30万円の工事となる事が報告された。また、玄関扉は共用部であるため補修する場合、管理組合の負担となる事の説明がなされた。検討の結果、金額が多額であるため全工事を実施する場合の見積りと、ステンレスプレートを張るだけの工事の見積りを分けて取得したうえで再検討となった。3)604号室の漏水について:10/22 604号室より天井より漏水が見られるとの連絡があり10/29以降に現地調査に入る旨の報告があった。昨年末にも漏水の報告があった部屋で、当時一旦対応は済んでいる。現時点での原因は不明。
- ② 第26期通常総会が11/12(月)にOKBふれあい福寿会館で行われた。【第1号議案】第26期収支決算及び事業報告に関する件【第2号議案】管理費等未収納金の現況報告に関する件(管理業務受託者より、長期滞納者に対する内容証明郵便作成、発送の依頼を熊田法律事務所へ依頼することが報告承認された。)  
【第3号議案】管理委託契約の更新に関する件【第4号議案】雑損処理に関する件(質疑応答:Q:同じことが発生しないか?、A:現在は毎月の入金確認を行っているため新たに発生する可能性は低い。)  
【第5号議案】第27期収支予算及び事業計画に関する件(質疑応答:Q:このマンションの積立金の残高は、今後のマンションの劣化に対する修繕工事を行なえるものか?、A:現状、十分とは言えないと思う。今後、大規模な修繕を実施するには一時金

の招収、あるいは毎月の修繕積立金の値上げが必要。値上げするとしたら万単位の増額になると思う。どちらにしても十分な検討が必要となり総会の決議が必要。次回理事会で検討。)【第5号議案】次期役員選任に関する件(第27期役員:理事603号室 一般社団法人岐阜県臨床検査技師会)【その他】管理会社より一部住戸より、扉の下部が腐食しているため修繕して欲しい、インターホンの不具合が出ているなど修繕依頼が届いているとの報告があった。まずは滞納金の問題解決を行った上で、マンションの資金残高も踏まえ、どの工事を、どの優先順位で実施するのか、今後検討が必要との確認がなされた。(後藤庶務部長)

- ・議事録に誤りがある(一般社団法人岐阜県臨床検査技師会→岐阜県診療放射線技師会)ため訂正をお願いします。(浅野会長)

- ・訂正の連絡を入れます。(後藤庶務部長)

- ・修繕について一戸当たり70万円ほどの修繕費用が掛かる可能性がある。実際の金額は未だ解らないが、修繕に向けて予算の計上もある事を(会計部)周知しておいてください。(浅野会長)

#### 2. 岐阜県臨床検査技師会技師長(代表者)連絡協議会について

- ・組織強化のため組織体制を見直すという事で、各部における構成員の充実、人材育成、会員の交流を図るという事で賀詞交換会などを提案したい。これらに関しては技師長の力が必要なので呼びかけをしたいと思う。②災害時対策マニュアルの作成についてや、会員や施設連絡責任者への一斉メールはあるが、技師長への一斉メールはないため(技師長への直接の案内やお願いもしたい)登録運用をしたい。③共用基準範囲の採用についても推進、促進をしたい。④法律を変えるには国会議員が必要なため、国会議員が十分活躍できるよう技師連盟(1口:3000円)の参加協力を呼び掛けたい。また、森副会長からも技師連盟の話をしてもらう。⑤技師長連絡協議会を継続していきたいので了承してもらえよう話を進める。最後には各研修会の参加、推薦(技師長より)の協力を要請したい。以上のことを明日進めていきたい。理事、特に常務理事は参加協力お願いします。そして、技師長の意見を聞き今後の活動の参考にしてください。(浅野会長)

#### 3. 春季拡大研修会について

- ・春季拡大研修会は来年6/2(日)に予定している。学術的な内容は、血液と微生物で「敗血症とDIC」の講演がある。市民公開講座は「味の素:アミノインデックス」の講演を予定している。(森副会長)

#### 4. 予算書・事業計画書について

- ・今月末までに予算書の提出をお願いします。(川合会計部長)

- ・各地区で調節し、予算は会計部長、事業計画は庶務部長に提出をお願いします。

1月の常務理事会で確認し、2月の理事会で承認を取る。(浅野会長)

#### 5. 日本臨床検査技師連盟について

- ・連盟より定期的にニュースが発行されている。連盟への入会が少なく岐阜県は23名と

少ない。日臨技では政治的活動ができなく、検査技師の将来のために法律改正や国への発言など資金がないとできないため、連盟の加入の協力をお願いします。来年度からは1口3,000円となる。1年だけの加入でも構わないのでよろしくお願いします。(森副会長)

・検査技師会に国会議員がいることがポイント。医療界で臨床検査技師が20年30年後はどのような立場になっているかわからない。臨床検査技師になって最後まで臨床検査技師として仕事ができる場を継続する(作る)ことや職域を広げる事が大切。日臨技も今回の法改正に伴って業務独占を目指している。このようなことを行うためには法律の改正が必要になってくる。そのためには国会議員が必要で、その国会議員が十分に活動できるための援助(資金:1口3,000円)が必要となる。検査技師の将来のためにご理解と協力をお願いします。(浅野会長)

議長 浅野 敦 

議事録署名人 森 晴雄 

議事録署名人 糸山 里美 

